

おう ぼ さく ひん てん ぼん き う
応募作品1点につき1本の木を植えます

さく ひん
作品
ぼ しゅうちゅう
募集中!

これまでの
応募作品数
280,718点

山田養蜂場主催
第14回

ミツバチの
いち まい が
一枚画
コンクール

応募
期間

令和8年
4月30日(水)~9月15日(火)

消印
有効

応募者全員に参加賞を差し上げます



地球上の生き物は、お互いに深い関わりをもって生きています。ミツバチを描くことで、「自然環境の大切さ」を一緒に考えたい、そしてより良い世界をつくる目標SDGsにも意識を向けたい。そんな想いのつまったコンクールです。
当コンクールでは、応募作品1点につき1本の木を植える活動を行っています。
あなたの絵が1本の木になり、やがてはいのちを育む森となります。あなただけの素晴らしいミツバチの世界を自由に描いてください。

募集テーマ

「花とミツバチ」「自然の中のミツバチ」「人とミツバチ」など、自然の大切さや人との関わりを感じられるミツバチを描いた絵画。

部門・賞

<国内作品> 合計50点以上の作品を表彰します

部門	幼児の部	小学生の部	中学生の部	一般の部 ※他の部門に 属さない方
賞 (大賞)	<1点> 図書カード 5万円分 + 副賞	<2点> 図書カード 5万円分 + 副賞	<2点> 図書カード 5万円分 + 副賞	<1点> 賞金 10万円 + 副賞

学校、クラス単位など団体応募も歓迎

◎団体奨励賞…コンクールの発展に寄与した学校・団体に授与します。受賞した小学校には児童書のセット、幼稚園・中学校・高校・画塾などには弊社商品をお届けします。

<海外作品> 17歳以下の部/18歳以上の部

※年齢は応募締切時点とする ※海外部門にも各賞あり

発表

2026年11月下旬から12月上旬頃に朝日小学生新聞、朝日中高生新聞、山田養蜂場のコンクール専用サイトで発表予定。

応募について

未発表で必ず本人が描いたものに限りです。
(HPや同人誌への掲載は発表とみなします)

※応募作品は返却いたしません。作品は写真などの記録に残して応募してください。

詳しくはコンクールウェブサイトをご覧ください。
応募用紙のダウンロードもできます。

URL
<https://www.3838.com/ichimaiga>

一枚画コンクール 検索



問い合わせ・作品応募先

「ミツバチの一枚画コンクール」事務局

T531-0077 大阪市北区大淀北1丁目6番29号

TOPPANビル4階 「ミツバチの一枚画コンクール」事務局

TEL 06-6452-3125 10:00~17:00
土・日・祝日のぞく

応募者の声

小学校の先生より

絵が苦手な子ども
楽しく描くことができました

「みんなで描こう」と子供たちが一致団結し、困難を抱える児童も共に励まし合う最高の時間を共有できました。絵が苦手な子どもに楽しそうで、このコンクールを通じて描く喜びを分かち合えたと感じています。今後も絵を描く楽しさを子供たちに伝えていきたいです。

応募者(中学生の部)より

小さなミツバチの大きな役割に
感謝を込めて描きました

大好きな果物を実らせるのに大きな役割を果たしてくれているミツバチに感謝を込めて描きました。ミツバチは小さいけれど、その役割はとても大切で大きな存在だと実感しました。

「実はすごい!ミツバチが作り出す
おいしいはちみつ」

YouTubeにて動画を公開中!

山田養蜂場チャンネル 検索



主催:株式会社 山田養蜂場 共催:朝日学生新聞社

後援:玉川大学ミツバチ科学研究センター、国際児童図書評議会

日本国際児童図書評議会・JBBY・JHP・学校をつくる会

この活動は、
文部科学省の生涯学習の
一環として行っております。



山田養蜂場は
子どもエコクラブを
応援しています。



アドバイザーを追究する。
山田養蜂場
YAMADA BEE FARM

ミツバチの一枚画コンクールが 子供たちの学びや SDGsの実践につながります

ミツバチが教えてくれる大切なことを紹介します。また、応募作品1点につき1本の木を植えます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



ミツバチが教えてくれる大切なこと



ミツバチと自然環境の関わり



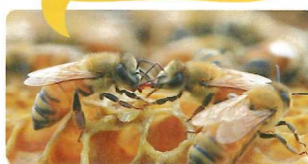
ミツバチは花から蜜をもらってお返しに、花粉を運んで受粉させ、植物が育つ手助けをしています。地球上からハチがいなくなると、スーパーに並ぶ約7割の野菜や果物が消えてしまうといわれているくらい、ミツバチは植物と支えあって、お互いの命をつないでいるのです。

ミツバチは家族で 支え合っている



ひとつの巣箱には女王バチ、働きバチ、オスバチがいて、それぞれがもつ大切な役目を一生懸命に果たしながら、助け合って「家族」で暮らしています。

みんなは 一人のために



ミツバチは一匹一匹が様々な役割を担いながら共に生きている社会性の生物です。それは私たち人間も同じ。「一人はみんなのために、みんなは一人のために」の奉仕の気持ちをミツバチは教えてくれます。

ミツバチからの 貴重な恵み、命の重み



一匹のミツバチが花畑を飛び回り、一生かかって集められるはちみつのは量は、スプーン一杯分にもなりません。はちみつには、ミツバチ一匹の命の重さが詰まっています。

作品の応募が森づくりにつながる



2018年以降の応募作品数から**13万本以上**もの植樹を行ってきました！

「ミツバチの一枚画コンクール」では、**応募作品1点につき1本の植樹**を行っており、昨年は第12回の応募作品と同数の21,973本を含む約5万本を植樹しました。過去に植樹した場所では森が蘇っています。養蜂業を原点とする当社は、「自然との調和」を理念に掲げ、未来を担う子供たちに豊かな自然環境を受け渡そうと、1999年より国内外で植樹活動を行っています。これまでの植樹総本数は約237万本になります。

Before 2019年



After 2024年



植樹地：ネパールの様子

植樹がCO₂削減につながる？

植物には、CO₂を吸収する働きがあります。その働きは、植物の種類や大きさによって異なりますが、例えば幹の太さ(直径)15cmのアラカンであれば、1本あたり1年間で約12kgのCO₂を吸収します。

当コンクールで植樹した13万本以上に換算すると、**年間で約1,560トンのCO₂削減**につながることになります。これは、乗用車1台が地球を300周以上(約1,200万km)走行する際に排出するCO₂をまるごとカバーできるほどの規模に相当します。

※一般家庭の乗用車(ガソリン車)の排出量を基準に算出

海外作品 昨年は過去最多22の国と地域から応募

2025年は海外22の国と地域から982点の応募があり、過去最多となりました。世界中から文化や伝統が反映されたミツバチの一枚画作品が届いています。周囲と共生するミツバチを描くことを通じて、世界の人々の心と心を繋ぐ架け橋となるコンクールを目指しています。



昨年は山田養蜂場本社にて表彰式を開催

2025年10月25日(土)、岡山県・山田養蜂場本社にて表彰式が行われました。国内の大賞・優秀賞に選出された10名の方が全国各地から出席されたほか、海外の受賞者からはビデオメッセージが届きました。入賞作品はコンクールのウェブサイトからご覧いただけます。

過去の受賞作品▶



応募作品について

- 作品サイズは四つ切画用紙(380mm×540mm)またはA3サイズ(297mm×420mm)の用紙。
※若干のサイズ違い、画用紙以外の作品も可。ただし、額入りは不可。油彩はキャンバスではなく紙ボードなどを推奨。(厚さ10mm以内)
- スケッチ、イラスト、貼り絵など表現方法および水彩、クレヨン、油彩など画材は自由です。
- デジタル作品、生成AIを使用した作品は不可とします。
- 応募作品貼付票に必要事項を記入して、作品の裏・右下に作品の天地がわかるようにしっかりと貼り付けてください。(1作品につき1枚)
- 別途、応募申込書を作品に同封の上、事務局までお送りください。
- ※団体で応募する際は、① 画・学校・画塾などの所在地、② 応募担当者(とりまとめて下さる方)のお名前、③ 応募者リストを記入した、団体応募申込書を必ず同封してご応募ください。
- ※画・学校・画塾など先生(担当者の方)がとりまとめて応募いただく場合は、1名から団体応募となります。

団体奨励賞について

コンクールの発展に寄与した学校・団体に授与します。受賞した小学校には児童書のセット、幼稚園・中学校・高校・画塾などには弊社商品をお届けします。

応募者全員に
参加賞を差し上げます



ぜひ表面もチェックしてください！

コンクールウェブサイトからも詳細をご覧ください。
応募用紙のダウンロードもできます。

URL <https://www.3838.com/ichimaiga>

Q 一枚画コンクール 検索

